



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 タイガースポリマー株式会社
 コード番号 4231 URL <https://tigers.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 渡辺 健太郎
 (氏名) 井上 宏章
 配当支払開始予定日 2020年6月24日
 TEL 06-6871-8060

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	39,870	7.3	1,301	43.5	1,563	39.6	222	86.8
2019年3月期	43,020	0.6	2,303	13.7	2,587	6.2	1,682	15.1

(注) 包括利益 2020年3月期 1百万円 (99.8%) 2019年3月期 1,016百万円 (64.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	11.13		0.7	3.6	3.3
2019年3月期	84.12		5.6	6.0	5.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	42,733	31,093	69.4	1,482.70
2019年3月期	43,679	31,530	69.0	1,506.81

(参考) 自己資本 2020年3月期 29,662百万円 2019年3月期 30,145百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,130	2,182	758	8,342
2019年3月期	3,517	4,117	548	8,270

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		8.50		8.50	17.00	340	20.2	1.1
2020年3月期		8.50		5.50	14.00	280	125.8	0.9
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

(注) 2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では未定であります。なお、当該理由等につきましては、4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」に記載しております。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	20,111,598 株	2019年3月期	20,111,598 株
期末自己株式数	2020年3月期	105,794 株	2019年3月期	105,730 株
期中平均株式数	2020年3月期	20,005,853 株	2019年3月期	20,005,933 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	21,399	5.9	765	40.7	1,476	24.3	1,192	10.2
2019年3月期	22,748	0.5	1,290	20.8	1,949	2.9	1,327	10.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	59.59	
2019年3月期	66.37	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	33,503		24,757		73.9		1,237.49	
2019年3月期	32,528		24,195		74.4		1,209.40	

(参考) 自己資本 2020年3月期 24,757百万円 2019年3月期 24,195百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
(減損損失)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の経済情勢は、国内では良好な雇用環境や各種政策の効果等により期前半は緩やかな回復基調で推移しましたが、期後半は消費税率の引上げや新型コロナウイルスの影響による消費自粛があり、また、海外では米中貿易摩擦や世界経済の不確実性等により、先行きの不透明感が一層強まった状況でありました。

このような環境の下、当社グループの当連結会計年度の業績は、日本、米州、東南アジアのセグメントで売上高が減少した結果、グループ全体の連結売上高は、39,870百万円（前期比3,149百万円 7.3%減少）となりました。

また、利益面につきましては、売上高の減少や新規設備立ち上げに伴う減価償却費の増加などにより、営業利益は1,301百万円（前期比1,001百万円 43.5%減少）、経常利益は1,563百万円（前期比1,023百万円 39.6%減少）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、米国の自動車部品生産拠点に係る固定資産の減損損失の計上及び繰延税金資産の取崩しなどにより、222百万円（前期比1,460百万円 86.8%減少）となりました。

個別の業績につきましては、売上高は21,399百万円（前期比1,348百万円 5.9%減少）、営業利益は765百万円（前期比525百万円 40.7%減少）、経常利益は1,476百万円（前期比473百万円 24.3%減少）、当期純利益は1,192百万円（前期比135百万円 10.2%減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

自動車部品、家電用ホース、産業用ホース、ゴムシートの販売が減少し、売上高は21,553百万円（前期比1,345百万円 5.9%減少）となりました。減収の影響に加え、減価償却費などの増加により、セグメント利益（営業利益）は892百万円（前期比581百万円 39.4%減少）となりました。

② 米州

米国では、自動車部品は、収益認識に関する会計処理方法の変更により、得意先からの有償支給部品を売上原価から売上高の減額に変更したことに加えて、販売が減少し、減収減益となりました。産業用ホースは、販売の増加に加えて諸経費が減少し、増収増益となりました。一方、メキシコでは、自動車部品の販売が増加し、増収増益となりました。その結果、売上高は12,709百万円（前期比2,384百万円 15.8%減少）、セグメント損失（営業損失）は197百万円（前期はセグメント利益167百万円）となりました。

③ 東南アジア

マレーシアでは、家電用ホースの販売が減少し、減収減益となりました。タイでは、自動車部品の販売が減少しましたが、為替換算上の影響があり、増収減益となりました。その結果、売上高は2,948百万円（前期比4百万円 0.2%減少）、セグメント利益（営業利益）は190百万円（前期比145百万円 43.4%減少）となりました。

④ 中国

家電用ホースの販売は減少しましたが、自動車部品の販売が増加し、売上高は5,436百万円（前期比206百万円 3.9%増加）となりました。増収に加えて、原材料費の減少により、セグメント利益（営業利益）は283百万円（前期比48百万円 20.4%増加）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて469百万円減少し、24,547百万円となりました。これは、主として現金及び預金が284百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が175百万円減少したこと、棚卸資産が116百万円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて476百万円減少し、18,186百万円となりました。これは、主として有形固定資産が214百万円増加したこと、投資有価証券が434百万円減少したこと、繰延税金資産が227百万円減少したことによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて945百万円減少し、42,733百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,054百万円減少し、7,670百万円となりました。これは、主として電子記録債務が261百万円減少したこと、短期借入金が1,221百万円減少したこと、1年内返済予定の長期借入金が355百万円減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,546百万円増加し、3,969百万円となりました。これは、主として長期借入金が1,300百万円増加したこと、退職給付に係る負債が200百万円増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて437百万円減少し、31,093百万円となりました。これは、主として利益剰余金が117百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が289百万円減少したこと、退職給付に係る調整累計額が144百万円減少したことによります。この結果、1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて24.11円減少し1,482.70円となりました。また、自己資本比率は、前連結会計年度末の69.0%から69.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、当連結会計年度末には8,342百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,130百万円（前期比387百万円 11.0%減少）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,319百万円、減価償却費2,121百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額304百万円、法人税等の支払額595百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、2,182百万円（前期比1,935百万円 47.0%減少）となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入3,494百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出3,083百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出2,648百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、758百万円（前期比210百万円 38.4%増加）となりました。

収入の主な内訳は、短期借入れによる収入650百万円、長期借入れによる収入1,500百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の返済による支出1,855百万円、長期借入金の返済による支出554百万円、配当金の支払額339百万円であります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当社グループの主要取引先である自動車業界の今後の生産活動への影響が国内外で不透明である状況下では、連結業績予想の合理的な算定が困難であることから、未定としております。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。また、2021年3月期の配当金につきましても未定としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、また、海外からの資金調達
の必要性が乏しいことから、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,667,698	9,382,720
受取手形及び売掛金	8,990,328	8,815,302
有価証券	1,500,000	1,500,000
商品及び製品	2,152,737	2,201,992
仕掛品	209,583	250,910
原材料及び貯蔵品	1,786,292	1,579,551
その他	711,692	816,972
貸倒引当金	△1,401	△63
流動資産合計	25,016,931	24,547,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,386,999	12,646,548
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,628,033	△7,185,776
建物及び構築物（純額）	5,758,966	5,460,772
機械装置及び運搬具	24,141,054	23,900,041
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,515,221	△19,696,929
機械装置及び運搬具（純額）	4,625,833	4,203,112
工具、器具及び備品	9,906,637	11,253,342
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,122,737	△9,728,107
工具、器具及び備品（純額）	783,900	1,525,234
土地	2,211,736	2,204,985
建設仮勘定	1,118,270	1,138,579
その他	-	244,218
減価償却累計額	-	△63,252
その他（純額）	-	180,966
有形固定資産合計	14,498,706	14,713,649
無形固定資産	271,872	265,440
投資その他の資産		
投資有価証券	3,108,667	2,673,822
繰延税金資産	457,549	229,802
その他	329,403	307,000
貸倒引当金	△3,570	△3,246
投資その他の資産合計	3,892,050	3,207,380
固定資産合計	18,662,629	18,186,470
資産合計	43,679,561	42,733,856

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,473,847	2,413,623
電子記録債務	2,157,982	1,896,174
短期借入金	1,871,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	555,500	200,000
未払金	1,686,944	1,779,323
未払法人税等	230,323	135,175
賞与引当金	443,480	387,815
役員賞与引当金	26,600	24,400
その他	279,241	183,588
流動負債合計	9,724,920	7,670,101
固定負債		
長期借入金	150,000	1,450,000
退職給付に係る負債	2,004,427	2,204,748
資産除去債務	15,694	16,047
繰延税金負債	159,490	164,741
その他	94,081	134,333
固定負債合計	2,423,694	3,969,870
負債合計	12,148,614	11,639,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,149,555	4,149,555
資本剰余金	3,900,679	3,900,679
利益剰余金	21,448,537	21,331,120
自己株式	△57,791	△57,830
株主資本合計	29,440,980	29,323,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	962,776	672,878
為替換算調整勘定	△288,913	△219,725
退職給付に係る調整累計額	30,217	△113,982
その他の包括利益累計額合計	704,080	339,170
非支配株主持分	1,385,885	1,431,189
純資産合計	31,530,946	31,093,884
負債純資産合計	43,679,561	42,733,856

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	43,020,042	39,870,160
売上原価	34,426,936	32,507,411
売上総利益	8,593,106	7,362,748
販売費及び一般管理費	6,289,456	6,060,987
営業利益	2,303,649	1,301,761
営業外収益		
受取利息	50,947	75,176
受取配当金	65,112	71,349
不動産賃貸料	57,170	60,347
為替差益	50,029	-
受取補償金	52,707	59,696
補助金収入	17,441	63,032
その他	62,979	36,836
営業外収益合計	356,387	366,438
営業外費用		
支払利息	45,768	27,388
不動産賃貸原価	12,972	14,113
為替差損	-	46,304
その他	13,883	16,683
営業外費用合計	72,624	104,490
経常利益	2,587,411	1,563,709
特別利益		
固定資産売却益	110,623	1,585
投資有価証券売却益	6,691	50,266
関係会社株式売却益	2,654	-
受取損害賠償金	-	170,825
特別利益合計	119,969	222,676
特別損失		
固定資産売却損	3,813	21
固定資産除却損	19,791	34,381
減損損失	344,733	431,995
ゴルフ会員権売却損	775	-
特別損失合計	369,114	466,399
税金等調整前当期純利益	2,338,267	1,319,987
法人税、住民税及び事業税	506,559	521,660
法人税等調整額	△6,169	413,243
法人税等合計	500,390	934,903
当期純利益	1,837,876	385,083
非支配株主に帰属する当期純利益	155,049	162,400
親会社株主に帰属する当期純利益	1,682,827	222,682

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,837,876	385,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△286,652	△289,897
為替換算調整勘定	△532,324	50,661
退職給付に係る調整額	△2,740	△144,200
その他の包括利益合計	△821,717	△383,436
包括利益	1,016,159	1,647
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	889,035	△142,227
非支配株主に係る包括利益	127,123	143,874

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,149,555	3,900,679	20,125,816	△57,655	28,118,396
当期変動額					
剰余金の配当			△360,107		△360,107
親会社株主に帰属する当期純利益			1,682,827		1,682,827
自己株式の取得				△136	△136
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			1,322,720	△136	1,322,583
当期末残高	4,149,555	3,900,679	21,448,537	△57,791	29,440,980

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,249,428	215,485	32,958	1,497,871	1,336,129	30,952,398
当期変動額						
剰余金の配当						△360,107
親会社株主に帰属する当期純利益						1,682,827
自己株式の取得						△136
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△286,652	△504,398	△2,740	△793,791	49,756	△744,035
当期変動額合計	△286,652	△504,398	△2,740	△793,791	49,756	578,548
当期末残高	962,776	△288,913	30,217	704,080	1,385,885	31,530,946

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,149,555	3,900,679	21,448,537	△57,791	29,440,980
当期変動額					
剰余金の配当			△340,099		△340,099
親会社株主に帰属する当期純利益			222,682		222,682
自己株式の取得				△38	△38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			△117,417	△38	△117,455
当期末残高	4,149,555	3,900,679	21,331,120	△57,830	29,323,525

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	962,776	△288,913	30,217	704,080	1,385,885	31,530,946
当期変動額						
剰余金の配当						△340,099
親会社株主に帰属する当期純利益						222,682
自己株式の取得						△38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△289,897	69,188	△144,200	△364,909	45,303	△319,606
当期変動額合計	△289,897	69,188	△144,200	△364,909	45,303	△437,061
当期末残高	672,878	△219,725	△113,982	339,170	1,431,189	31,093,884

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,338,267	1,319,987
減価償却費	2,000,056	2,121,804
減損損失	344,733	431,995
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,969	△1,647
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△800	△2,200
受取利息及び受取配当金	△116,059	△146,525
支払利息	45,768	27,388
為替差損益 (△は益)	△32,895	46,293
有価証券売却損益 (△は益)	△6,691	△50,266
関係会社株式売却損益 (△は益)	△2,654	-
固定資産売却損益 (△は益)	△106,810	△1,563
固定資産除却損	19,791	34,381
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	775	-
受取損害賠償金	-	△170,825
売上債権の増減額 (△は増加)	△94,113	145,899
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△239,944	102,674
仕入債務の増減額 (△は減少)	293,567	△304,629
その他	△340,163	53,869
小計	4,100,859	3,606,636
利息及び配当金の受取額	115,687	146,699
利息の支払額	△45,768	△27,388
法人税等の支払額	△652,818	△595,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,517,959	3,130,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,879,713	△3,083,657
定期預金の払戻による収入	3,114,340	3,494,709
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,057,935	△2,648,613
有形及び無形固定資産の売却による収入	284,978	1,693
投資有価証券の取得による支出	△694,689	△17,316
投資有価証券の売却による収入	19,094	82,858
投資有価証券の償還による収入	200,000	-
子会社株式の取得による支出	△11,000	-
関係会社株式の売却による収入	3,204	-
その他	△95,696	△11,915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,117,416	△2,182,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	650,000	650,000
短期借入金の返済による支出	△650,000	△1,855,160
長期借入れによる収入	150,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△261,000	△554,780
自己株式の取得による支出	△136	△38
配当金の支払額	△359,896	△339,906
非支配株主への配当金の支払額	△77,367	△98,571
その他	-	△60,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△548,401	△758,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107,543	△117,209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,255,401	72,143
現金及び現金同等物の期首残高	9,525,544	8,270,142
現金及び現金同等物の期末残高	8,270,142	8,342,286

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外連結子会社における収益認識の適用)

一部の在外連結子会社において、米国財務会計基準審議会（FASB）が公表した会計基準の改訂（ASU）第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」（Topic606）を当連結会計年度より適用しております。当該会計基準の適用については、経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用し、連結財務諸表に与える影響は次のとおりです。

- (1) 買戻し契約に該当する有償支給取引により得意先から支給される部品・原材料について、従来は「売上高」と「売上原価」を総額表示しておりましたが、「売上高」の減額として表示しております。これにより、「売上高」と「売上原価」がそれぞれ1,565,165千円減少しております。
- (2) 買戻し契約に該当する有償支給取引により得意先から支給される部品・原材料の期末棚卸高について、従来は「流動資産」の「原材料及び貯蔵品」として表示しておりましたが、「流動資産」の「その他」に表示しております。これにより、「その他」が97,594千円増加し、「原材料及び貯蔵品」が97,594千円減少しております。

(在外連結子会社におけるリースの適用)

一部の在外連結子会社において、国際財務報告基準第16号「リース」（以下「IFRS第16号」という。）を当連結会計年度より適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度の連結貸借対照表は「有形固定資産」の「その他（純額）」180,966千円、「流動負債」の「その他」35,301千円及び「固定負債」の「その他」41,663千円が増加しております。

なお、この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、海外で需要のある国に子会社を展開し、現地生産、現地販売を基本に最適地での生産を行うことを経営の基本方針としております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、当社の技術をもとに、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米州」、「東南アジア」及び「中国」の4つを報告セグメントとしております。なお、「米州」に属する主な国又は地域はアメリカ及びメキシコであり、「東南アジア」に属する主な国又は地域はタイ及びマレーシアであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「日本」では、ホース、シート、成形品及びその他の製品を生産・販売しており、「米州」、「東南アジア」及び「中国」では、ホース及び成形品を生産・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

「会計方針の変更」に記載のとおり、当連結会計年度より米国財務会計基準審議会（FASB）が公表した会計基準の改訂（ASU）第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」（Topic606）を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。この結果、従来の方法に比べ、当連結会計年度の米州の売上高が1,565,165千円減少しております。なお、セグメント利益への影響はありません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	東南アジア	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	21,122,765	15,080,699	2,440,382	4,376,196	43,020,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,776,810	13,401	513,024	854,082	3,157,318
計	22,899,576	15,094,100	2,953,406	5,230,278	46,177,361
セグメント利益	1,473,192	167,805	335,868	235,826	2,212,692
セグメント資産	32,762,655	11,234,720	5,044,011	5,061,940	54,103,328
その他の項目					
減価償却費	757,870	608,038	338,223	315,525	2,019,658
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,012,772	1,435,377	476,438	430,522	3,355,111

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	東南アジア	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	20,070,232	12,698,179	2,430,451	4,671,296	39,870,160
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,483,395	11,135	518,440	765,365	2,778,336
計	21,553,627	12,709,314	2,948,891	5,436,661	42,648,496
セグメント利益又は損失(△)	892,065	△197,496	190,198	283,929	1,168,698
セグメント資産	33,741,356	11,788,199	5,592,999	5,102,199	56,224,755
その他の項目					
減価償却費	776,639	652,829	366,119	348,779	2,144,367
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,358,431	463,814	447,328	464,327	2,733,902

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	46,177,361	42,648,496
セグメント間取引消去等	△3,157,318	△2,778,336
連結財務諸表の売上高	43,020,042	39,870,160

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,212,692	1,168,698
セグメント間取引消去等	90,957	133,063
連結財務諸表の営業利益	2,303,649	1,301,761

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	54,103,328	56,224,755
セグメント間取引消去等	△10,423,767	△13,490,898
連結財務諸表の資産合計	43,679,561	42,733,856

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		セグメント間取引消去等		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	2,019,658	2,144,367	△19,601	△22,562	2,000,056	2,121,804
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,355,111	2,733,902	△20,755	△20,602	3,334,355	2,713,299

(関連情報)

製品及びサービスごとの情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	ホース	ゴムシート	成形品	その他	合計
外部顧客への売上高	10,440,865	5,369,226	25,633,416	1,576,534	43,020,042

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	ホース	ゴムシート	成形品	その他	合計
外部顧客への売上高	10,344,816	5,185,519	23,102,377	1,237,447	39,870,160

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,506.81円	1,482.70円
1株当たり当期純利益金額	84.12円	11.13円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	31,530,946	31,093,884
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,385,885	1,431,189
(うち非支配株主持分(千円))	(1,385,885)	(1,431,189)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	30,145,060	29,662,695
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	20,005	20,005

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,682,827	222,682
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,682,827	222,682
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,005	20,005

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(減損損失)

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	認識の経緯
大阪府豊中市	基幹システム	ソフトウェア仮勘定	納期遅延等による開発中断
マレーシアジョホール州	家電用ホース製造設備	機械装置及び運搬具	遊休資産

当社グループは、主に管理会計上の区分で、処分等の意思決定をした資産については個別にグルーピングを実施し、減損損失の認識の判定をしております。

その結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、基幹システムは320,340千円、家電用ホース製造設備は24,393千円を特別損失に計上いたしました。

なお、当該資産グループの回収可能価額は、使用価値で測定しており、その評価は零としております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	認識の経緯
米国オハイオ州	工場土地建物、ゴム及び樹脂成形品等製造設備	建物及び構築物、機械装置及び運搬具、工具器具及び備品、土地	継続的な営業損失の計上

当社グループは、主に管理会計上の区分で、処分等の意思決定をした資産については個別にグルーピングを実施し、減損損失の認識の判定をしております。

その結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、431,995千円を特別損失に計上いたしました。

なお、当該資産グループの回収可能価額は、正味売却価額で測定しており、正味売却価額は市場価値を勘案した合理的見積りにより評価しております。